



看護部長 稲垣氏



総合課長 田邑氏



**スマートフィット**  
テープ止めタイプ

リフレスマートラインのテープ止めタイプ、スマートフィットをお使いいただいている、和歌山県紀の川市の「医療法人共栄会 名手病院」様にご訪問させていただきました。

名手病院は、在宅医療の充実を図るべく、訪問看護ステーションを拠点とした訪問看護や、訪問リハビリテーションのご依頼も積極的に受け付けており、福祉・介護連携を含めた医療体制を確立し、地域の皆さまに信頼され愛される「やさしさと思いやり」のある病院づくりを目指されています。今回はスマートフィットの採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、看護部長の稲垣さん、総合課長の田邑さんにインタビューしました。

## 伸縮性の高い うす型テープ止めタイプ

導入までの経緯を  
教えていただけますか？

稲垣 「患者さんにはおむつをできる限り使用しない、快適に過ごして欲しいという気持ちが強くあり、そのため、これまでアウターに入れるパッドの見直しや、おむつの交換回数削減の取り組みを行っていたので、今回スマートフィットをご紹介いただいて、患者さんの装着時の快適性やフィット性に魅力を感じて導入することになりました」



現在のご使用状況はいかがですか？

稲垣 「2017年からスマートフィットを使用しており、従来のテープ止めタイプに比べ非常に伸縮性が高く、拘縮のある方や足まわりの細い方などに好評を頂いており、多くの患者さんをカバーできていますが、一部体の小さな方がいらっしゃいます。今回スマートフィットSサイズが発売されるということで、さらに多くの患者さんに使っていただくと非常に楽しみにしています！」



ありがとうございます！  
発売までもうしばらくお待ちください。  
スマートフィット導入後、現場に変化はありましたか？

稲垣 「おむつの交換回数が減り、患者さん

の夜間安眠を確保することができました。装着時の違和感が少ないためか、患者さんもうっとり眠っていただいているように感じます」

田邑 「更に、交換回数が減ることで職員の業務負担も減っていますし、従来のテープ止めタイプではあてにくかった体型の方にも、スマートフィットに変えてからはあてやすくなったという声もあがっていますね」



稲垣 「特に気に入っている所はうすくてすっきりしているところです。おむつを装着しても動きやすいためか、患者さんのリハビリのモチベーションも高くなっているように感じます。スマートフィットを使用することで患者さんの気持ちが前向きになっているので最終的には排泄自立を目標としたケアに取り組んでいきたいですね」

## 排泄自立に向けて

排泄ケアについて  
工夫されていることはありますか？

田邑 「昔はおむつの中に何枚もパッドを入れてしまっていたり、大きいサイズのおむつを使用したりしていましたが、リフレサポーターさんと排泄ケアの改善に取り組むことで、おむつは排泄物をモレないようにするだけではなく、患者さんの快適性や動きやすさも重視すべきだと意識が変わってきました」



稲垣 「現場でおむつの交換をしていると排便・排尿状況も確認することができるので患

者さんの状況がよくわかります。スマートフィットもそうですが、患者さんが生活しやすいように、体型や尿量、体調に合ったおむつを選ぶようにしていますね。リブドゥさんの勉強会に定期的に参加させていただいて、職員もきれいにあてられるようになってきています」

いつも勉強会に参加していただいて  
ありがとうございます！

今後の施設の目標はありますか？

稲垣 「現在、医師、看護師、介護士などの多職種を交えて排泄ケアに取り組むチームをつくっています。去年は職員のおむつのあて方に関する技術を向上させることが出来たので、今後の目標としては、排泄ケアについてお困りの周辺地域の方々に、使い方などを気軽に相談できる場所を提供していきたいと考えています。その際はぜひスマートフィットをご紹介させていただきね！」

ありがとうございます！  
今後も、スマートフィットを  
お試しいただける機会が増えることを  
楽しみにしています！

本日は色々とお話を聞かせていただき、  
ありがとうございました！

